

薬剤部のビジョン

1. 高度先進医療・地域医療を支える 2. 医療人としてのプロフェッショナリズムを醸成する 3. 未来を拓く診療・研究を推進する

三重大学病院について

設立：昭和18年12月(三重県立医学専門学校附属病院)
病院機能：特定機能病院
病床数：685床
拠点病院指定

- エイズ治療拠点病院 1996.2.21
- 地域災害拠点病院 1997.1.6
- 都道府県がん診療連携拠点病院 2007.1.31
- 肝疾患診療連携拠点病院 2008.12.25
- 小児がん拠点病院 2013.2.8
- 三重県アレルギー疾患医療拠点病院 2018.3.30
- 三重県難病診療連携拠点病院 2019.4.1
- がんゲノム医療拠点病院 2019.9.19

がん診療
に特徴がある



令和5年4月13日撮影 薬剤部集合写真



入院・診療棟 2011年12月 開院
外来・診療棟 2015年 5月 開院

手術部、集中治療センター、外来化学療法部、病棟各階にサテライトファーマシーを設置
抗がん剤調製ロボット、自動薬剤ピッキング装置を配備

薬剤部 スタッフ構成 (2024年4月見込)

教員：教授(兼薬剤部長)1名、准教授1名、講師1名、助教1名
職員：副薬剤部長2名、薬剤主任8名、常勤(無期)34名、任期付常勤7名
薬剤師レジデント(任期付常勤)：1年次研修生5名、2年次研修生5名
非常勤薬剤師1名、事務補佐員：7名、医療安全管理部助教1名、感染制御部助教1名

研究、教育にも力を入れる体制



手術部サテライトファーマシー外観 自動薬剤ピッキング装置 抗がん剤調製ロボット

薬剤部が取得している研修施設認定

- 認定薬剤師制度研修認定施設(日本医療薬学会)
- がん専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- 薬物療法専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- がん薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- 日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修認定施設(日本臨床薬理学会)
- 緩和医療専門薬剤師制度研修認定施設(日本緩和医療薬学会)
- がん診療病院連携研修日本臨床腫瘍薬学会
- 実務研修生受入施設(日本薬剤師研修センター)
- 薬学生実務実習受入施設(薬学教育協議会)

専門薬剤師取得
にアドバンテージ

資格取得者
がん専門・指導薬剤師、薬物療法専門薬剤師、医療薬学専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法専門薬剤師、救急認定薬剤師、日本臨床薬理学会指導薬剤師、老年薬学指導薬剤師、小児薬物療法認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師等

レジデント研修の特長

1. 大学病院が備える豊かな教育環境を最大限活用したプログラム
2. 1年次の医療薬学一般コースと2年次の医療薬学専門コースを設置
3. 2025年度より保険薬局での在宅医療の研修を開始予定
4. 経験豊富な専門薬剤師、指導薬剤師からの指導
5. 疾患・薬物治療、薬剤業務を学び、臨床薬剤師の職能拡大を目指す
6. 学会発表と論文執筆の方法を学ぶ
7. レジデントにメンターを選任し、研修目標の達成に向けたアドバイスだけでなく、キャリア形成に向けた相談応需を行う
8. 機会があれば海外研修も実施(2016年、2017年)

待遇等(2024年4月時点)：一般研修 2年(従来から)

給与等	基本給(月給)：学歴・経験等を考慮して決定 大学卒(6年制)：231,608円(新卒者)～ ※地域手当を含む 期末・勤勉手当(賞与)：年2回(6月・12月)、年間4.5月分支給 ※初年度は別計算 諸手当：通勤手当、住居手当、超過勤務手当等 退職手当：要件を満たした場合に支給
雇用期間	採用日から2年間 ※期間満了後は、勤務評価等により期間の定めのない職員として雇用する場合があります。
勤務時間	1日当たり7時間45分、週38時間45分勤務 ※時間外勤務あり
休暇	年次有給休暇、特別休暇(産前・産後、夏季、リフレッシュ、忌引等)、病気休暇、育児休業等
加入保険	文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険

地域研修 3年(新規)

一般研修と異なる部分を抜粋

研修内容	1年次は医療薬学一般コース、2年次、3年次は地域研修コースとし、コース毎に修了証を発行する。 ● 医療薬学一般コース(臨床薬剤業務に必要な知識、技能を修得する。) ● 地域研修コース(一般コース修了後、薬剤師偏在地域の医療機関での臨床薬剤業務を経験し、地域医療に必要な基本的な知識ならびに技能を修得する。) ※三重県奨学金返還助成制度(在学中に貸与を受けた奨学金の一部に対する返還資金を助成する制度)を適用する予定
雇用期間	採用日から3年間 ※期間満了後は、勤務評価等により期間の定めのない職員として雇用する場合があります。

研修スケジュールの例

薬剤師としての実践力を身につける業務研修

医師による講義
病態の知識、処方意図を理解する

講義研修をより有意義にする
チーム力の醸成
学習領域での薬剤師の活動を知る

1年次研修

セントラル研修	講義研修	セミナー研修
4月 調剤室	1か月 1疾患 (医師講義)	1か月 2疾患 (1回グループ研修)
5月 注射剤・製剤管理室		
6月 医薬品情報室		
7月 麻薬・手術部薬剤管理室		
8月 調剤室		
9月 注射剤・製剤管理室		
10月 病棟薬剤業務管理室		
11月 外来診療・TDM管理室		
12月 がん薬物療法管理室		
1月		
2月		
3月		

2年次研修

病棟研修	講義研修	その他
4月 病棟1 (循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科等)	1か月 1疾患 (医師講義)	チーム医療、研究活動等
5月		
6月		
7月 病棟2 (肝胆脾・移植外科、消化管外科、消化器・肝臓内科等)		
8月		
9月		
10月 病棟3 (産科婦人科、周産母子センター(NICU、MFCU))		
11月		
12月		
1月 病棟4 (脳神経外科、脳神経内科、整形外科、形成外科等)		
2月		
3月		

講義研修

日	時間	講義内容	担当
2023/6/21	18:00-19:00	心臓・血管系疾患	心臓細動
2023/7/11	18:00-19:00	呼吸器疾患	COPD
2023/8/3	18:00-19:00	内分泌・代謝疾患	脂質異常症
2023/9/6	18:00-19:00	血液疾患・腎疾患	腎不全
2023/10/26	18:00-19:00	悪性腫瘍	胃がん
2023/11/15	18:00-19:00	消化器疾患	潰瘍性大腸炎
2023/12/4	18:00-19:00	骨・関節疾患	骨粗鬆症
2024/1/9	18:00-19:00	神経疾患	パーキンソン病
2024/2/2	18:00-19:00	感覚器疾患	乾癬
2024/3/11	18:00-19:00	精神疾患	統合失調症

講義研修で学ぶ疾患について、調べてきたことをグループワークにより共有
【学習項目】
疫学・発症機序、診断、治療、興味を持った文献を紹介
【学習資源】
各種ガイドライン、書籍、文献等
【事前学習時間】
平均10時間程度
【セミナー開催頻度・時間】
1か月に1回、業務後に開催
平均2時間程度

第2期生 5名

実績及び進路 2016～2023年度

1年次研修 26名
同 修了 25名
2年次研修 21名
同 修了 18名

1年次研修修了者の進路(2年次研修途中での異動を含む)

保険薬局 4名
大学院 1名

2年次研修修了者の進路

三重大学医学部附属病院 14名
県外大学病院 2名
総合病院 2名
保険薬局 1名

学会発表 2016～2023年度

1. 杉浦泰平 他、三重大学医学部附属病院における多受容体作用抗精神病薬(MARTA)の血糖モニタリング実施状況と対策 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2016.10(岐阜)
2. 菊谷由里香 他、三重大学医学部附属病院における未承認等の医薬品の使用にかかる現状調査 第20回 日本医薬品情報学会総会・学術大会 2017.7(東京) **薬事日報記事**
3. 菊谷由里香 レジデントプログラム、実感できる成果 - 薬剤師レジデントの立場から - 第7回 日本薬剤師レジデントフォーラム2018.3(神戸)
4. 野中千絵 他、三重大学病院におけるサンシシ含有製剤の処方状況と腸間膜静脈硬化症への対応状況調査 第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会 2018.6(鈴鹿)
5. 川田暁 他、隣がん教室の質の向上を目指して～薬剤師の視点からみたKJ法による問題点の抽出と対応策の検討～ 第8回隣がん教室ワークショップ in 柏の葉 2018.11(東京)
6. 篠木優里 他、大量メトレキサート療法時の副作用発現に対するフェブキソスタット併用の影響 第27回日本医療薬学会年会2018.11(神戸)
7. 川田暁 他、入院時持参薬鑑別業務におけるお薬手帳の活用度と問題点についての検討 第8回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(福岡)
8. 加藤千佳 他、入院時持参薬に内服降圧薬を含む患者の血圧管理に及ぼす薬剤数及び処方内容の複雑性の影響 医療薬学フォーラム2019 2019.7(広島)
9. 白石ちひろ 他、三重大学病院における禁煙薬の使用状況の把握と内容分析 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(東京)
10. 加藤千佳 他、持参薬鑑別を契機に行われた薬学的介入事例の内容分析とその対応策の検討 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(東京) **優秀ポスター賞**
11. 篠木優里 他、病棟担当薬剤師によるステロイド投与患者に対する薬学的介入事例の内容分析 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(東京)
12. 福井里菜 他、カフェイン大量服用患者に対して血中テオフィリン濃度を測定し経過観察した1症例 第11回日本薬剤師レジデントフォーラム 2021.11(Web)
13. 水田朱梨 他、フェノバルビタール投与中の新生児に発症したアスペルギルス症に対し、ポリコナゾールを使用した事例 第11回日本薬剤師レジデントフォーラム 2021.11(Web)
14. 森悠香梨 他、デノスマブによる低Ca血症に及ぼすループ利尿薬の影響に関する観察研究 第25回日本骨粗鬆症学会 2023.9.(三重) **優秀演題賞**
15. 安富栄人 他、SARS-CoV-2感染症治療薬レムデシビルの併用により血中タクロリムス濃度が上昇した生体腎移植患者の1例 第13回日本薬剤師レジデントフォーラム2024.3(千葉)



第1期生がレジデントフォーラムシンポジウムにて発表した際の薬事日報記事